

水産物の市況について(令和5年10月及び令和5年11月)

—東京都中央卸売市場における令和5年10月(令和5年9月21日～令和5年10月20日集計)の市況と、
令和5年11月の市況見通し(前月との比較)—

I 令和5年10月の全体の市況

東京都中央卸売市場における総入荷量(水産物の生鮮品、冷凍品及び加工品の合計)は、前月から横ばいで推移し、前年同月比でも横ばいで推移しました。卸売価格(水産物全体の1キログラム当たり平均価格)は、前月から横ばいで推移し、前年同月比でも横ばいで推移しました。

II 令和5年11月の主要品目の市況見通し

「まいわし(生鮮品)」

東京への入荷量は減少し、卸売価格は強含みで推移すると見込まれます。

「さけ類(塩蔵品・冷凍品)」

東京への入荷量は銀ざけ主体に横ばい、卸売価格は横ばいで推移すると見込まれます。

「さば(生鮮品)」

東京への入荷量は増加し、卸売価格はやや弱含みで推移すると見込まれます。

「するめいか(生鮮品・冷凍品)」

東京への生鮮品・冷凍品の入荷量は横ばい、卸売価格は横ばいで推移すると見込まれます。

「あじ(生鮮品)」

東京への入荷量は横ばい、卸売価格は横ばいで推移すると見込まれます。

「まぐろ(冷凍品)」

東京への入荷量は全体では横ばい、卸売価格は横ばいで推移すると見込まれます。

「かつお(生鮮品)」

東京への入荷量は減少し、卸売価格は強含みで推移すると見込まれます。

「さんま(生鮮品)」

東京への入荷量は減少し、卸売価格は弱含みで推移すると見込まれます。

凡例(目安)

増減率	入荷量	卸売価格
0～2%	横ばい	横ばい
3～10	やや増加(減少)	やや強(弱)含み
11～20	増加(減少)	強(弱)含み
21～50	かなり増加(減少)	かなり強(弱)含み
51～	大幅に増加(減少)	—

東京都中央卸売市場への総入荷量・卸売平均価格(概数)

(単位:千トン、円/kg)

	10月		前月		前々月	
	入荷量	価格	入荷量	価格	入荷量	価格
5年	27	1,456	27	1,446	24	1,520
前年	27	1,450	25	1,433	26	1,358

注1:入荷量及び卸売価格は、それぞれ前月の21日から当月の20日までの暫定数値。

2:入荷量は生鮮品、冷凍品及び加工品の合計。

主 要 品 目 の 価 格

(単位:円/kg、%)

	東京都中央卸売市場卸売価格(概数)			
	10月	前月対比	前年同月対比	平年同月対比
まいわし(生鮮品)	496	102	92	125
さけ類(平均)	1,310	110	97	129
(ぎんざけ塩蔵品)	1,240	105	100	122
(あきさけ塩蔵品)	1,023	91	89	113
(べにざけ塩蔵品)	1,491	105	100	106
(さけ類冷凍品)	1,327	112	96	134
さば(生鮮品)	652	114	124	124
するめいか(平均)	1,140	90	107	130
(生鮮品)	1,062	89	93	116
(冷凍品)	1,600	100	175	206
あじ(生鮮品)	716	107	122	119
まぐろ(冷凍品)	1,672	96	82	104
(めばち冷凍品)	1,058	97	74	90
(きはだ冷凍品)	1,416	87	112	147
(くろまぐろ冷凍品)	3,371	93	86	101
(みなみまぐろ冷凍品)	2,172	102	83	107
かつお(生鮮品)	696	105	68	100
さんま(生鮮品)	1,247	98	126	168

注1:品目により、市場で水産物の大きさ等が異なることから、主要な水産物の価格データを掲載。

注2:10月の価格は1～20日までの速報値を元に算出。平年とは平成30年～令和4年の加重平均値。

注3:さけ類冷凍品は、主として、ぎんざけ、あきさけ、べにざけ及びアトランティックサーモンが含まれる。

注4:まぐろ(冷凍品)は、めばち、きはだ、くろまぐろ及びみなみまぐろが含まれる。

問合せ先:水産庁加工流通課企画調査班

代表 03-3502-8111

内線 6618 賛田、西村

直通 03-3591-5613